

令和5年度 第3回都島区議会での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で防災訓練を行っているが、高層住宅の方はなかなか参加していただけない。どう働きかけていけばいいか悩んでいる。 ・地区防災計画のリニューアルを行った。地域の方全員へ配布したいが予算がない。連合町会で配布すると、町会へ加入されている方のみ配布となってしまう。ホームページでみていただくことにしても、年配の方には厳しいと思う。改善してほしい。 	尾柳委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高層住宅居住者の訓練参加が少ないとのことですが、コミュニティの強化のためにも、区役所としても、ホームページ、SNSなども使って訓練参加を呼びかけていきます。 また区役所が行っている出前講座は、マンションに出向いて、町会の加入有無によらず実施しているため、活用していただけるように啓発していきます。 ・リニューアルした地区防災計画の全戸配布については、予算的に厳しく、ただ、全戸に配布された町会もあると聞いていますので、区としても地域と一緒に考えていけたらと思います。 	当日回答のとおり	防災地域活性
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練の際に役割分担をつくるが、すぐにメンバーが変わり役割を構成しなおすことになる。地域の役員も高齢化しており、若い人の参加が進まない。この状況をどうすればよいか。 	多田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防災を担当するメンバーや町会の役員も替わっていきますが、引き続き訓練を実施し、役割分担も浸透させていただきたいと思えます。区役所も支援してまいります。また、防災の役員の方は、災害対応時に核となる方なので、避難所運営訓練では指導をしていただきたいと思います。 	当日回答のとおり	防災地域活性
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ全般として、5月から活動が自由に再開して、活動は戻ってきていると都島区でも他区でも聞いている。一方で、コロナの影響で、いろいろな催しとかその活動が止まってしまったがために、4年間のプランクができて、その間に主な担い手の高齢化が進み地元が心細くなっている。行政として、担い手の若返りや参加促進についてどうサポートしていくのか。 	花田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動は徐々に活動が活発となっているところです。 ・一方で、コロナ渦であっても地域活動を止めてはいけないとの思いも持たれ、例えば、食事サービスを個別配送に切り替えたり工夫して継続されていた。 ・地域の役員については、4年間同じ役員の地域と2年交代、3年交代で変わっているところがあります。コロナ渦で活動のブランク期間により、十分な引継ぎができていないため、運営に苦労されているところもあると聞いています。 ・担い手の問題については、すべての区が担い手不足、高齢化に悩んでいます。うまく引継ぎができるようになればいいが、難しいのが現状です。 ・防災活動や地域のお祭りが、関心をもってもらえるきっかけになればと思います。また、若手委員会を独自に作っている地域もあり、どういう形であれば若い世代に参加してもらえるのか議論されています。 ・地域活動への支援については、区役所が委託しているまちづくりセンターが各地域に入り、困りごとを聞いて、解決に向け取り組んでいます。すべてを解決できるわけではありませんが、区役所の職員も一体となって取り組んでいきたいと考えています。 	当日回答のとおり	市民協働

令和5年度 第3回都島区議会での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
4	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーが高齢化している。若い力をもっと活用するべきだと思う。中学生を対象と一緒に防災訓練をしている地域がある。中学や高校生とか、若い子を一緒に防災訓練とを学校を巻き込んで実施して、子どもたちにこの防災意識を高めたいのではないかな。 	後藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーの高齢化について、若い方に入ってきていただけたらありがたいのですが、シルバー世代の方々も、まだまだ知恵の部分で頑張っていたらいいと思います。 ・学校の防災学習について、区役所では、中学校での防災学習会の開催や小学校では防災リーダーにも参加いただき防災授業を行っています。 ・若手の力も必要ですので、中学生、高校生が地域に目を向けていただけるよう、引き続き防災学習に力を入れ、若手の発掘をしていきたいと考えております。 	当日回答のとおり	防災地域活性
5	<ul style="list-style-type: none"> ・JRの桜ノ宮駅高架下に、学生が描いた壁画があるが、その上にスプレーで落書きをされている。安全で美しいまちづくりのため描いていただいたものだと思うので、非常にいたたまれない。 ・大東地域でも、城北公園通の駅前に桜宮高校の学生が描いた壁画があるので人ごとではない。もう起きてしまったものは仕方ないので、今後の対策として、例えば落書きを除去しても壁画が消えないような加工はできないのか。しっかりと区として取り組んで、対策に取り組んでほしい。また、実際にこのようなことが起きたときに、どのような対策を考えられているかをお聞きしたい。 	藪上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・JR桜ノ宮駅高架下は、専門学校の方に桜の絵を描いていただきました。壁画アートにつきましては、京橋や城北公園通駅のところにもあります。落書きをされないようにするという対策は難しいですが、落書きを見つけましたら、それを薄くする対策をしております。桜ノ宮駅高架下についても、下のアートに影響のない範囲で対策をしたいと思っております。 	当日回答のとおり	政策企画
6	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子育てできるまちづくりやコミュニティ豊かなまちづくりに通じるところだと思うが、子どもがボール遊びをするところが少ないのではないかなと思う。 ・周りの住民の方から学校にクレームが入ってという理由だと思うが、地域の小学校が、ここではボール遊びしないよう注意喚起をしたりとか、公園で遠慮して遊ばなきゃいけないということが多いイメージがある ・公園の遊具も、老朽化したり、古くなって撤去した公園も結構見られたり、この遊具は遊ばないでねという貼り紙がしてあったりとかいろいろ公園で見受けられる。子どもたちが安心して遊べるような取組について伺いたい。ボール遊びについても、例えば、この公園ではボール遊びしていいよ、そのエリアを造ってあげるとかしていただけたらありがたいと思う。 ・やはり遊具が少ないと、子どもたちはどうしてもボール遊びをする。小学生がボールで遊んでいると、危ないからやめなさいとなり、今度それが小学生以下の柔らかいボールとかも遊ぶのも駄目になってしまう。改善をしていただきたい。 	藪上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に、かなり制約が多いというのは確かに事実であると認識しています。公園は多種多様な方々が自由に過ごせる場所ですので、なんでもできることにはならないとは思っています。 ・今日いただきましたご意見は、公園を管轄しています関係部署にお伝えをさせていただきます。 ・公園の遊具については、古くて使えないところは、安全の観点で、けがをする恐れがある、結果的に事故にもつながる可能性があるので使えないようになっているんだろうと推測します。 ・古くなった遊具を、いつ、どうするかと気になられるようなことがありましたら、関係部署に問い合わせ確認することはできますので、ご理解をいただけたらと思います。 	当日回答のとおり	市民協働

令和5年度 第3回都島区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
7	・コムズガーデンの改修工事が入ると聞いているが、区役所の関与はあるのか。	高橋委員	・コムズガーデンは、上が京橋公園という公園部分で、地下部分が大阪地下街が経営されるコムズガーデンとなっています。万博開催前、来年度にリニューアルをするということで聞いております。区は、直接その事業に関わっているわけではないですが、よりよいものにしていきたいと考えております。	当日回答のとおり	政策企画
8	・まちづくりビジョン策定について、人流データ、各種ビッグデータ等の精査・分析を行っていくという説明であったが、その対象は、住民だけが対象か、来訪者、外国人旅行者も対象とするのか。 ・外国人訪問者向けのホスピタリティアクションについて教えてほしい。	山野委員	・データ分析につきましては、住民の方だけではなく、他地域から来られる方、インバウンドの方も含めて、どこからどういった方がどのような場所に來られて、どのような活動、例えば仕事や食事などといった活動などの人流分析や各種ビッグデータを分析いたします。そういった分析を基にして、地域のポテンシャルや施策を見いだしていきたいと考えております。 ・外国人ホスピタリティアクション、インバウンド施策について、京橋は交通機関が多く、交通結節点として活用もされやすい場所ですが、キタやミナミほどインバウンドの方も来られていません。 海外の方から見ますと、大阪で魅力的なスポットのナンバーワンが大阪城となっています。大阪城は非常に近うございますし、そこに來られた方が京橋にも回遊していただけないかと考えております。万博で、海外の方も日本に注目をされている機会ですので、その機会を捉えて誘致していく、令和6年度にPR、令和7年度は來られた方が回遊しやすいような取組をホテルや商業施設と連携して進めていきたいと考えております。	当日回答のとおり	政策企画